

これまで「まちづくり」の活動は地域住民が中心でした。そして、時流とともに様々な課題が表れてきました。特に高齢化とともに、参画・協働する人材の不足と固定化が進み、活動が停滞するようになってきました。

「まちづくり」は、個人の自己実現を超えて、まちに暮らす一人一人の幸福度や生活の質の向上を高めていこうとするものです。

それゆえに、まちづくりの主体者は「まち」での暮

らしに係る全ての人であらねばなりません。「まち」で働く人々、学校・PTA、各種団体(組織)、企業・商店 等も総出で参画し、目標イメージを共有しながら、協働して目指す「まち」を実現しなければなりません。

これからは、原点に立ち返り、わかりやすい組織に再編成し、多くの人がわかり易く関われ、互いにつながりを感じながら活動していける「あおば地区流」の活動の在り方を模索してみたいと思います。

総務部

あいさつ運動

毎週月曜日、地区内の主要交差点で総務部が主体となって、あいさつ運動を展開しています。地区の大人と、子どもが顔見知りになるのはお互い心強いことと思えます。(今年は雪が少なく良かったです、毎年交差点の雪かきに苦労します。)



納涼祭・にぎやかまつり楽市楽座

8/3 納涼祭

11/10 にぎやかまつり

納涼祭やにぎやかまつりでは、子ども達が楽しめるものを中心に大人も子どもも楽しんで頂けるように考えています。



今年は、昨年好評だったヤマメのつかみ取りをして自分の捕まえたヤマメを食べました。風船コーナーでは様々な風船で剣や帽子など子ども達に大人気でした。また全員参加のサイコロチャンスは目の数だけ柿をゲットできて大人も子どもも大盛り上がりでした。

環境・文化部

聾学校との交流

8月25日毎年恒例の聾学校との交流会を行いました。窓拭きの後、全員で行ったスポーツは大変盛り上がりしました。

環境にやさしいEMボカシ

今年もスクモと糠を主原料にボカシ菌を入れてEMボカシを作りました。美味しい野菜が楽しみです

ラウンドマークとしてのあおば公園



昨年植えたマツバ菊を中心にあおば公園ののり面の整備を行っています。今では4月~12月頃まできれいなピンクでのり面が覆われ、公園の中の見通しも良くなって防犯面でもとても好評です。の活動を少しでも地区の企業・学校の方にも理頂きたいと声かけをした所、今年は青翔開智中学校にお手伝いいただき、スーパーマルイさんからは資材とお茶を頂きました。

防災・防犯部



災害に強いまちづくり・災害に備えて

まちづくり会では、災害に備えて災害倉庫の中にいろいろな資材を少しずつそろえるようにしています。近年には平成29年度にカセットガスで動く、発電機を購入いたしました。音も静かで誰でも取り扱える発電機で、にぎやかまつりではこの発電機を使用してコーヒーを振る舞い、地区の方々にも使用方法を確認していただきました。その時に防災倉の中を見て頂き準備しておいた方が良いものなどの意見も頂きましたので、これから少しずつそろえていきたいと思えます。

健康・福祉部

あおば公園を中心にした健康づくり

健康・福祉部で管理をしているあおば公園の芝生のグラウンドを中心にして、地区の皆さんの健康づくりのお手伝いを行っています。毎朝、高齢者を中心にゴルフのにぎやかな声が聞こえます。また、デイキャンプではヤマメの塩焼きなど子ども達と一緒に楽しみました。

6/16 グラウンドゴルフ
11/9 健康ウォーキング
延べ19回 芝刈り・堆肥撒きなど



今年のウォーキングは、令和改元記念として地元、万葉の里を歩きました。その後、美敷牧場で焼肉を美味しくいただきました。

里山交流

神戸地区との交流

昨年、中湯棚地区との交流を行いました。今年、範囲を広げて、神戸地区との交流会を行いました。

4/27 竹の子掘りと竹林整備
6/24 竹灯ろう作り
7/13 わくわくデイキャンプ
7/28 子ども竹灯ろう作り
10/29 干し柿作り
1/25 かき餅作り



今年、範囲を広げたおかげで、干し柿やかき餅作りなど経験出来ました。干し柿やかき餅は小さい頃に作ったなあ、食べたなあ、とても懐かしく思いました。